あいぽ〜と通信

平成30年（2018）6月発行
第45号

トピックス Topics
- あいぽーとフェスティバル'18
- 特集：子どもが危ない！スマホ社会のトラブル ～インターネット時代の人権を考える～
- 特集：公民館・集会所等対象「出前講座」
- あいぽーと徳島 実施事業のご案内、イベント情報など

あいぽーと徳島では、さまざまなイベントを開催しています！

あいぽーとフェスティバル'18

開催日 平成30(2018)年4月7日(土)実施
会場 沖洲マリンターミナルビル

平成30(2018)年4月7日(土)、沖洲マリンターミナルビルにて、多くの団体、ボランティアの方のご協力をいただき、「あいぽーとフェスティバル18」を開催し、ご家族づれなど、たくさんの参加者でにぎわいました。

オープニングの後、最初に、キャラクターショーとして、いじめや仲間づくりをテーマにした「保育士ヒーローブレイク」による、熱気のあるアクションステージがあり、子どもたちだけでなく大人までも考えさせられるストーリーに、夢中になる子どもたちを中心に盛りあがりました。

続いて、三味線餅つき保存会「うだつ」による実演がありました。景気の良いもちつき唄と三味線、太鼓の演奏にあわせたもちつきは、「きなどり」と「つき手」の絶妙なタイミングとスピード感で、観客を惹きつけていました。観客の参加した体験コーナーもあり、歴史を感じながらも、にぎわいのある時間となりました。

和太鼓演奏のNPO法人「太鼓の楽校」は、年齢、性別、障がいの有無を越えて、様々な人が和太鼓を楽しめるようにと県内外を問わず演奏活動をされています。障がいのある人をチームに交えた演奏に引き続き、和太鼓を見て、触れて、打ってみるワークショップも開催されました。

また、子ども縁日広場では、くじ引き・すくいコーナー、かぶとむし(幼虫)昆虫教室等が開催され、終日、楽しむ子どもたちの姿が印象的でした。

最後のトーク&コンサートでは、フォークシンガーの「高石ともや」さんが、自らの実践、青春を振り返り、幸せな人生のつくり方、生き方について、語りかけるように話され、なつかしいフォークソングを観客と共に楽しむ時間となりました。

（音声認識コード）

第1回 県民講座 災害に強いまちづくり ～いつか来るその時のために～

申込不要 参加無料

- 講　師／天野和彦さん（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授）
- 日　程／8月2日［木］午後1時30分～午後3時30分
- 会　場／沖洲マリンターミナルビル 2階「マリンホール」
- 主催・問い合わせ／あいぽーと徳島

第1回 特別展示 災害と人権を考える

入場無料

- 展示内容／●東日本大震災 被災地の子どもたちからのメッセージ 〈公財〉人権教育啓発推進センター所蔵
  ●熊本震災と障がい者を受け入れた避難所 ―熊本学園大学・激動の45日― 〈公財〉福岡県人権啓発情報センター所蔵
- 展示期間／7月15日［日］～8月10日［金］※7月17日(火)及び展示期間中の月曜日は休館日
- 展示場所／あいぽーと徳島 展示・交流スペース

人権教育啓発リーダー養成講座

「一人ひとりが夢ある未来のために さあ出発しよう」

- 対象者：市町村の人権教育啓発担当者及び教職員、人権教育啓発に関する団体に所属する方等
- 会　場：沖洲マリンターミナルビル・マリンホールほか
- 参加無料　●主催・問い合わせ／あいぽーと徳島

要申込

回	日程	テーマ	講師
1	7月20日［金］13:30～15:30	子どもの人権と貧困問題	荘保　共子さん（NPO法人こどもの里理事長）
2	8月23日［木］13:30～15:30	災害とセクシュアルマイノリティ	山下　梓さん（岩手レインボー・ネットワーク主宰）
3	9月13日［木］13:30～15:30	日本における女性観と女性差別～女性のケガレから考える～	伏見　裕子さん（大阪府立大学工業高等専門学校講師）
4	10月11日［木］12:30～15:30	同和問題と人権のまちづくり 現地研修:大阪市すみよし隣保館 寿	友永　健三さん（(公財)住吉隣保事業推進協会理事長）
5	11月 8日［木］13:00～16:00	ケアニン～あなたでよかった～ 映画上映会・講演	藤村磨実也さん（脚本家・映像ディレクター）
6	12月13日［木］13:30～15:30	働き方を考える	中原のり子さん（全国過労死を考える家族の会・東京代表）
7	1月24日［木］13:30～15:30	相模原事件から考える	立岩　真也さん（立命館大学大学院 先端総合学術研究科教授）
8	2月 7日［木］13:30～15:30	日本とガーナ 2つの祖国に抱かれて	矢野デイビット さん（(一社)Enije〈エニジェ〉代表）

夏休み子ども体験プログラム

今年の夏休みは、いっしょにいろいろ体験して楽しもう!!

- 対象:子どもとその保護者など
- 「ちりめんモンスターをさがせ」以外のイベントは要申込、それぞれ申込〆切があります。
- くわしくは あいぽーと徳島ホームページをご覧いただくかお問い合わせください。
- 主催・問い合わせ:あいぽーと徳島

回	日程	内容	場所
1	7月21日［土］・22日［日］10:00～16:00	ちりめんモンスターをさがせ	沖洲マリンターミナルビル 2階 マリンホール（徳島市東沖洲2丁目14）
2	7月25日［水］ 10:30～11:45	すず虫　昆虫教室&家づくり	社会福祉法人 大麻福祉の町「板東の丘」（鳴門市大麻町板東字中谷8−4）
3	7月28日［土］ 10:30～13:00	わくわく農業体験	岡本さんちの畑（名西郡石井町高原）
4	8月 3日［金］ 13:30～15:00	「青山　唯さん」ハープコンサート	社会福祉法人白寿会「阿波老人ホーム仙寿園」（徳島市住吉4丁目12−10）
5	8月 9日［木］ 13:30～15:00	マスコミ機関訪問学習	徳島新聞社／四国放送（徳島市中徳島町2丁目5−2）

関連情報

平成30年度「心あたたまるパワーフレーズ」

～「心に元気」、「生きる勇気」をありがとう！あなたがいてくれてよかった～
「人とのつながり」の大切さや言葉の力のすばらしさをご応募ください。

作品募集期間：平成30年7月6日［金］～9月7日［金］まで

募集作品・規格
- 生きる希望や一歩踏み出す勇気をくれた言葉や出来事。心がほわっと温かくなった言葉や体験。心を元気にしてくれた友達や家族、先生の言葉や体験を表現した作品を募集します。
- 作品は、手紙やメッセージ、または手紙やメッセージと絵（イラスト）や写真を組み合わせたものとします。制作方法については、特に定めません。ただし、平面作品に限ります。
- 応募作品は、いずれも応募者本人が制作した未発表の作品に限ります。
- 手紙やメッセージの文字数は400字以内とします。
- 用紙の大きさはA4版（29.7cm×21cm）までとします。
- 用紙の材質や色は問いません。ただし、用紙は無地のものとします。

作品募集

応募先とお問い合わせ先
徳島県教育委員会人権教育課（県庁9階）
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
担当電話番号 Tel.088-621-3157

徳島県男女協調週間講演会

―「ときわプラザ」は男女共同参画の総合的な活動拠点です―

ストレス時代を生きる～元気になるための処方箋

受講無料

ストレス社会の現代において、多様な生き方や働き方を実現し、自分らしく生き生きと暮らすためにはどうすればいいのか、心療内科医である海原純子さんをお迎えし、お話いただきます。

- 講　師／心療内科医/日本医科大学特任教授 海原純子（うみはらじゅんこ）さん
- 日　時／平成30年7月8日［日］午後1時30分～午後3時【開場】午後1時
- 場　所／ときわプラザ（徳島県立男女共同参画交流センター）2階ブライダルコアときわホール（アスティとくしま内）駐車場が大変混雑する場合がございます。早めのご来場にご協力をお願いします。
- 定　員／142名 定員になり次第締め切ります。

【プロフィール】
東京慈恵会医科大学卒業。日本医科大学特任教授。医学博士・心療内科医・産業医、昭和女子大学・客員教授、ハーバード大学・客員研究員　心療内科医として全国で講演活動を行う。

無料託児あります。［講座と一緒にお申込みください］
対象：1歳から就学前までのお子様

◆お申し込み・お問い合わせ◆ 下記申込先まで、電話・ファクシミリ・E-mailのいずれかでお申し込みください。
ときわプラザ（徳島県立男女共同参画交流センター）《開館時間10:00～18:00》休館日 火曜日
電話：088-655-3911 FAX：088-626-6189 E-mail：flairtokushima@mf.pikara.ne.jp

人権相談のご案内

あいぽーと徳島では、人権擁護委員・弁護士による人権相談を行っています。まずは電話にてご連絡ください。

一人で悩まずお電話を

Tel.088-664-3701

- 人権擁護委員による相談 第2・第4土曜日（10:00～16:00） 面接相談及び電話相談
- 弁護士による相談（要予約） 第1・第3金曜日（13:00～16:00） 面接相談

［編集・発行］
あいぽ〜と徳島
徳島県立人権教育啓発推進センター
指定管理者 特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット
〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリンターミナルビル内
Tel.088-664-3719 Fax.088-664-3727
あいぽーと徳島 検索 http://www.aiport.jp
●開館時間／午前10時から午後6時まで
●休 館 日／月曜日（祝日の場合はその翌日）
年末年始（12月29日から1月3日まで）

駐車場案内　お車を利用の場合、ビル西側駐車場の「あいぽーと徳島」と表記のある赤いコーンの場所に駐車してください。満車の場合は、ビル北側の県営有料駐車場をご利用ください。●4時間まで200円

公共交通機関のご案内　JR徳島駅前から徳島市営バス【中央卸売市場】行きに乗車し、【沖洲マリンターミナル】にて下車。

（音声認識コード）

特集 子どもが危ない！スマホ社会のトラブル
～インターネット時代の人権を考える～

●平成30（2018）年5月29日実施

講師 佐藤佳弘（さとう よしひろ）さん
株式会社情報文化総合研究所代表取締役

講演内容

■年々上がるスマホ利用率

今やスマホは子どもから大人まで誰もが使う道具となりました。多く使われることで、スマホが関わる犯罪も多くなりました。電車に乗って辺りを見回すと、みんなスマホの小さな画面に夢中です。いつでもどこでもネットに繋がる便利な道具ですが、便利だということは、その後ろには同じ大きさの危険があるということをぜひ知っていただければと思います。

総務省の調査によると平成28年の調査では、スマホを持っているのは56.8%という数字が出ています。内閣府が行っている子どものスマホ所有率の調査では、小学生で3割、中学生で6割、高校生はほとんどがスマホを持っており、小学生・中学生の所有率は年々上がっているそうです。

■スマホのメリットとデメリット

保護者からは子どもに持たせることで、子どもの居場所が把握しやすい、帰りが遅くなったり塾からの登下校の際にも安心感があるというメリットも聞かれる一方、ネット上で名前や住所を安易に書き込んでしまう、暴力的、性的な内容の有害サイトを利用してしまう、また目が悪くなる、といったデメリットも心配されています。

実際、スマホを使ってトラブルになったという人は小学生で6人に1人、中学生は3人に1人、高校生は2人に1人と言われており、この数字は大変高い割合だと思います。トラブルの内容は様々ですが、特にネット上のいじめは従来のいじめと違って発見しづらいのが特徴です。

ネット上のいじめには、学校裏サイトの掲示板に悪口を書き込むもの、嫌がらせや強要している動画をYouTubeに投稿するもの、なりすましメール、またLINEなどのSNSを使った仲間はずれ、などが挙げられます。

■大切なのは「ぐるみ」の対応

特にSNSは相手とのコミュニケーションツールですから、単に家庭で利用時間などを制限すれば良いという問題ではありません。コミュニケーションをとる相手も同様にルールを守らなければ意味がないんです。つまりSNSを使ったルールは「友達ぐるみ」、「学校ぐるみ」、「地域ぐるみ」といった「ぐるみ」でルールを作って対応しないと解決しない段階になっていると思います。

地域や学校では、どんな取り組みが行われているのでしょうか。2014年4月、愛知県刈谷市が全国の自治体で初めて「夜間の子どものスマホ禁止」という方針を打ち出しました。条例や法律ではなく、教育委員会が打ち出した方針ですから強制力も罰則もありませんが、これにならって全国の市や県で同様の取り組みが続いています。また一方的に禁止するのではなく、教育委員会や学校によっては、子ども達自身でルールについて考えさせ、自らルールを作って守らせるというやり方を行っている所もあります。

家庭では何ができるでしょうか。まずスマホの契約者は保護者であり、子どもには貸し与えているということを話しておくこと。スマホに関するルールを理念ではなく具体的な表現で決めておくこと。有害なサイトにアクセスを制限するフィルタリングを利用すること。ペアレンタルコントロールで夜間の使用などきめ細かい制限をすること。LINEの設定を一緒についてやってあげること。食事中やトイレの間もスマホを使い続けたり、着信音が鳴ってもないのに画面を見てしまうなどスマホ依存の兆候を見逃さないこと。食欲がなくなる、寝坊する、学校に行きたがらない、笑顔が少なくなるなどの異変をキャッチしてあげることなど、できることはたくさんあります。

そしてお子さんが万一被害にあったら、まず学校に連絡してください。学校は各機関と連携して対応しますし、法務省の人権擁護機関、違法・有害情報相談センターなど専門機関の助言もぜひ活用していただきたいと思います。

（音声認識コード）

ネットいじめの認知件数（全国）

（　）内は、いじめ認知件数に占める割合

年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計[件]
2016	2,683(1.1%)	5,723(8.0%)	2,239(17.4%)	138(8.1%)	10,783(3.3%)
2015	2,075(1.4%)	4.644(7.8%)	2.365(18.7%)	103(8.1%)	9,187(4.1%)
2014	1,607(1.3%)	4,134(7.8%)	2,078(18.2%)	79(8.2%)	7,898(4.2%)
2013	1,712(1.4%)	4,835(8.8%)	2,176(19.7%)	65(8.5%)	8,788(4.7%)
2012	1,679(1.4%)	3,700(5.8%)	2,401(14.8%)	75(9.2%)	7,855(4.0%)
2011	358(1.1%)	1,732(5.6%)	870(14.5%)	32(9.5%)	2,992(4.3%)
2010	268(0.7%)	1,664(5.1%)	974(14.7%)	18(5.3%)	2,924(3.9%)

出典:「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
文部科学省初等中等教育局児童生徒課

子どもが遭遇するネットトラブル

- ●インターネットの掲示板やメールで悪口を書かれた
- ●チェーンメールを送られた
- ●自分の個人情報や写真などを無断で流された
- ●心当たりのない利用料金の請求を受けた
- ●広告などの迷惑メールがたびたび送られてきた
- ●他人からしつこくメールを送られたり、つきまとわれたりした
- ●携帯電話、スマートフォンで撮られた写真が悪用された
- ●ネットで知り合った人と実際に会った（または会いそうになった）
- ●その他

出典:「平成29年度携帯電話に関する保護者意識調査結果について」
埼玉県教育局県立学校部生徒指導課

LINEでのトラブルを回避するために

LINEを出会い系にしない設定

1. 「友だち自動追加」をオフにする。← 「友だち自動追加」をオンにすると、スマホのアドレス帳がネットに転送される。
2. 「友だちへの追加を許可」をオフにする。
3. 電話帳を「自動更新なし」にする。
4. 「IDの検索を許可」をオフにする。
5. 「メッセージ通知の内容表示」をオフにする。
6. 友人ごとに公開・非公開を設定する。
7. タイムラインの「新しい友だちに自動公開する」をオフにする。
8. 「知り合いかも」表示を「しない」に設定する。

出会い系にしない設定

〈そして〉

1. 非公式LINEアプリ・掲示板を利用しない。
2. 知らない人からの接触には、ブロック機能を使う。
3. 一方的にトークが送られてきた場合は「通報」をクリックする。

出典:佐藤佳弘『脱!スマホのトラブル』武蔵野大学出版会、P.68、2014年6月から作成

家庭のルール例（決めておく）

1. 悪口、うわさを書かない。≫ いじめ
2. 自分や友達の写真を投稿しない。≫ 個人情報
3. 知らない人に返信しない。≫ 犯罪
4. 悪ふざけ写真を載せない。≫ 炎上
5. 使う場所・時間を考える。≫ マナー
6. 普段は位置情報をオフにする。≫ プライバシー
7. 食事中、入浴中に使わない。≫ 依存
8. 無断でアプリをダウンロードしない。≫ 不正アプリ
9. 歩きスマホをしない。≫ 事故
10. 音楽・映画をダウンロードしない。≫ 著作権
11. ID、パスワードを人に教えない。≫ 不正アクセス
12. お金を請求されたら相談する。≫ 詐欺

出典:佐藤佳弘「インターネットと人権」京都府啓発ビデオ、2016年

入荷図書・DVD情報

その他、新しく入荷した図書・DVD情報は、あいぽーと徳島のホームページ「お知らせコーナー」をご覧ください。

図書
「麦ばあの島」
第1巻～第4巻
古林海月 著

図書
「教科書をタダにした闘い
高知県長浜の
教科書無償運動」
村越 良子 著
吉田 文茂 著

図書
「ばっちゃん
～子どもたちの居場所。
広島のマザー・テレサ～」
伊集院要 著

図書
「ハナミズキのみち」
淺沼ミキ子 文
黒井健 絵

図書
「ムーム」
かわむらげんき 作
ましこゆうき 絵

DVD
「そんなの気にしない
-同和問題-」
東映株式会社
教育映像部

DVD
「ウエルカム
-外国人の人権-
東映株式会社」
教育映像部

DVD
「壁をこえて ハンセン病問題・
菊池恵楓園の歴史に学ぶ（2枚組）」
著作 合志市
協力 国立療養所菊池恵楓園
国立療養所菊池恵楓園入所者自治会

DVD
「わっかカフェへ
ようこそ
～ココロまじわる
ヨリドコロ～」
企画 東京都教育委員会

平成30年度
青少年読書感想文
全国コンクール 課題図書
を貸出用として
入荷予定です。
ご活用ください。

あいぽーとスタディ

6月7日（木）、「あいぽーと徳島『体験学習』事業」で吉野川市の知恵島小学校4年生27名が、あいぽーと徳島に来館。「障がい者」についての理解を深めてもらうため、車いすやアイマスクについての研修・体験をしていただきました。

●参加された児童の感想

- 実際に車いすでスロープや階段を通り、友だちと協力して体験できたことがよかった。
- 目の不自由な人の普段のくらしを感じることができた。アイマスクをつけて歩くのはこわかった。
- 町で車いすの人や、目の不自由な人がいたら声をかけて、手助けをしたいと思った。

（音声認識コード）

募集 公民館・集会所等対象「出前講座」

公民館や集会所等で行われる、地域のみなさまが自由に参加できる人権講演会、研修会等開催のお手伝いをいたします。

- ●希望される開催日、時間、講師名等をご連絡ください。
- ●講師は希望の講師を軸に、あいぽーと徳島からの提案も含めて、双方の協議で決定します。

くわしくは、あいぽーと徳島のホームページから「出前講座」をご覧いただくか、お電話にてお問い合わせください。